

株式会社システムクリエイト
SOLIDWORKS 定期講習会

通 知 表

受講者名：

SOLIDWORKS定期講習会 通知表

実施日：

担当講師：

■ 1日目

	内容	評価	判定
ソフトウェアの基本	1 SOLIDWORKSで使用される3つのファイル形式の違いがわかる	○	A
	2 「部品」と「アセンブリ」の違いがわかる	○	
	3 基本的なビュー操作を行うことができる	◎	
	4 図面の表記に合った向きでモデルを作成できる	○	
拘束について（基礎）	5 寸法拘束と幾何拘束(水平・鉛直・垂直・平行・同心円)について理解している	○	A
	6 拘束(寸法拘束・幾何拘束)の優先順位を理解している	○	
	7 重複定義の意味を理解し、重複のないよう設定/修正ができる	◎	
	8 完全定義の意味を理解し、過不足のないよう設定/修正ができる	◎	
スケッチについて	9 スケッチ上の実線と作図線の違いがわかる	◎	B
	10 スケッチや制御点などを選択・解除できる	△	

■ 2日目

拘束について（応用）	1 幾何拘束(同一線上・等しい値・正接・対象・固定)について理解している	◎	A
平面の扱いについて	2 モデル平面を使用してスケッチを作成できる	○	B
	3 平面コマンドを使用してスケッチ平面を作成できる	○	
機能・コマンドについて	4 デザインツリーに表示される操作履歴を確認できる	△	B
	5 回転コマンドについて理解し、適切に使用できる	△	
	6 スケッチ編集/フィーチャー編集コマンドを使用して、エラー修正や寸法変更を行うことができる	○	
	7 スイープ・ロフトコマンドについて理解し、適切に使用できる	○	
	8 シェル機能について理解し、適切に使用できる	◎	
	9 エンティティ変換コマンドを使用して別のスケッチ平面への投影ができる	○	
	10 フィレット機能について理解し、適切に使用できる	○	

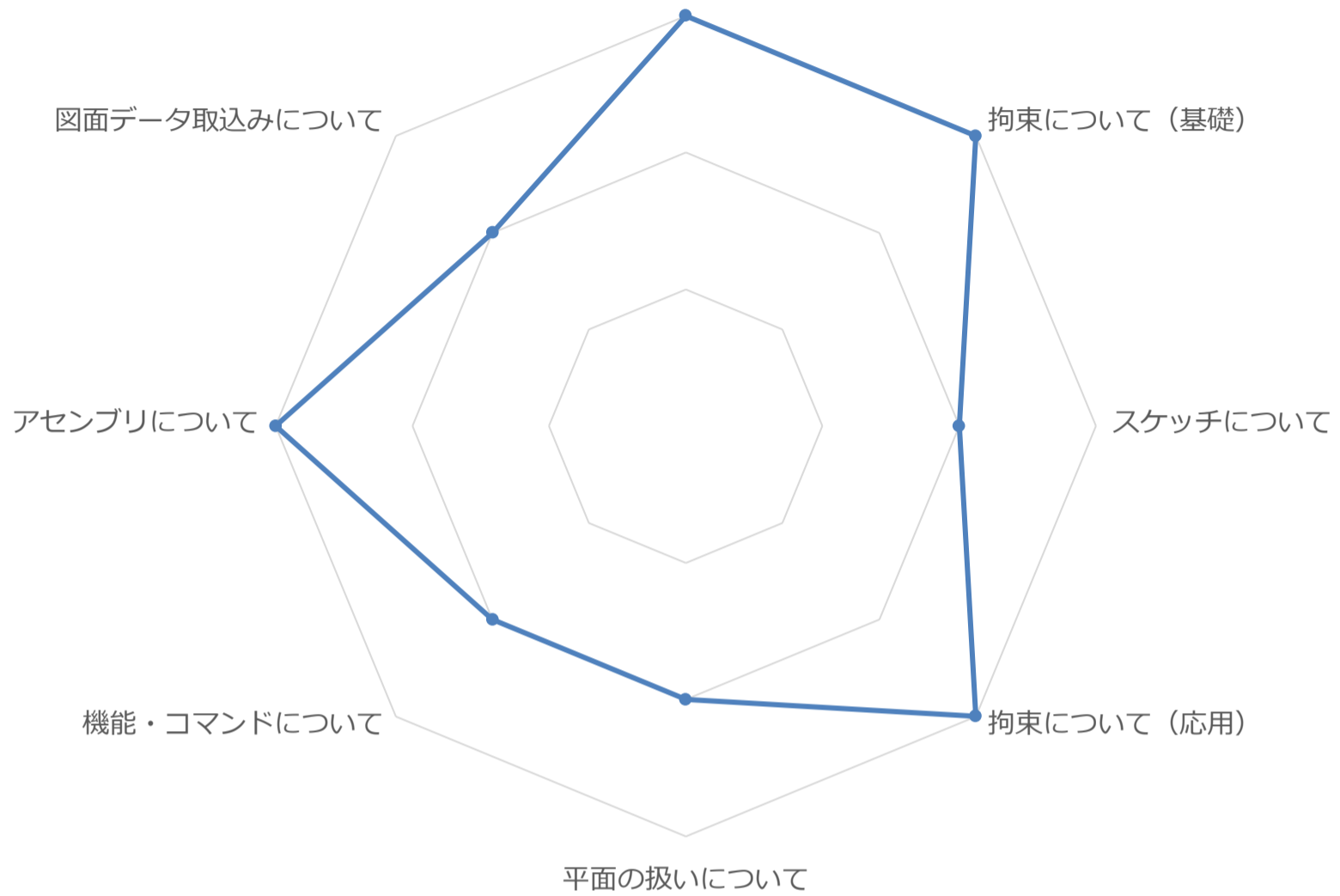
■ 3日目

アセンブリについて	1 部品を取り込む順番に注意して、アセンブリを作成できる	△	A
	2 アセンブリの標準合致について理解している	○	
	3 アセンブリ詳細設定合致を用いて、部品のクリアランスに応じた幅を指定できる	○	
	4 部品ごと/アセンブリ全体の静的な干渉認識(干渉チェック)ができる	◎	
	5 アセンブリの動的な干渉認識(干渉チェック)ができる	○	
	6 アセンブリ作成後の部品変更・編集を行うことができる	○	
	7 作成した部品やアセンブリを使って、図面を作成できる	◎	
	8 アセンブリの合致オプション「位置付けのみ」を必要に応じて使用できる	◎	
	9 部品ファイルの変更がアセンブリ・図面に自動で反映されることを理解している	○	
図面データ取込みについて	10 ファイルの取り込み方法に注意して、図面データをスケッチに取り込むことができる	○	B

☆評価の基準について…◎指定された時間内に完了できている/○講師の補助が5回までに完了した/△5回以上の補助が必要だった

評価グラフ

ソフトウェアの基本



担当講師より

機能それぞれの理解は十分ですが、一部のコマンド操作に苦手な個所があるようです。

お客様の環境でコマンドの配置に差もありますので、日常の業務を通して繰り返すことでこれらは解消できると思われます。

基本的な操作や入力には身に着けていただけましたので、継続したスキルアップと、より効率的な設計へと繋げていただければと思います。

